

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

京都府

| | |
|---------|----------------------------------|
| 行 事 名 称 | 元離宮二条城合同消防訓練（文化財防火デー前々日） |
| 実施期間・日時 | 平成 30 年 1 月 24 日（水） 14:00～14:30 |
| 実 施 場 所 | 元離宮二条城（京都市中京区二条通堀川西入二条城町 541 番地） |
| 主 催 者 | 京都市（元離宮二条城事務所・消防局） |

■実施内容

訓練の想定

二の丸御殿〔国宝〕の黒書院から出火、国内外からの多くの来城者があり、燃焼拡大の危険が迫っている模様。

訓練の内容

- 1 本市消防局で導入している多言語通訳による 119 通報の訓練（録音）を行うとともに、外国籍の方も避難役として参加した。
- 2 元離宮二条城事務所自衛消防隊による通報、初期消火、避難誘導及び文化財搬出の訓練を実施した。
- 3 消防局独自事業である「文化財防災マイスター」（観光バスガイド）による初期消火、避難誘導訓練を実施するとともに、避難役として文化財防災マイスターである観光ボランティアの学生も参加した。
- 4 公設消防隊等による消防局独自事業である「文化財セーフティカード」を活用した文化財搬出訓練、画像伝送訓練（ヘリコプターテレビ、指揮隊用タブレット等）及び救出救護訓練を実施した。
- 5 最後に、自衛消防隊、消防団及び公設消防隊による一斉放水訓練を行った。

参加者及び役割分担

- 1 訓練視閲者：門川大作京都市長・荒木俊晴消防局長
- 2 来賓：松坂浩史文化庁地域文化創生本部事務局長
- 2 元離宮二条城事務所自衛消防隊（20 名）：通報・初期消火・避難誘導・文化財搬出
- 3 文化財防災マイスター（ヤサカ観光バス 5 名・京都古文化保存協会学生ガイド 10 名）：初期消火・避難誘導
- 4 中京消防団（10 名）：小型動力ポンプによる放水活動・警戒活動
- 5 消防局（消防車両 6 台及びヘリコプター 1 機）：文化財搬出、ヘリコプターテレビの画像伝送、救出救護活動

特に工夫した点

- 1 二条城に来城者の実態に合わせ、避難する役として学生や外国人の方に参加いただき、五か国語対応のできる多言語通訳の 119 通報について周知したこと。
- 2 文化財防災マイスターとして、初めて観光バスガイドの協力を得ることができ、初期消火や避難誘導訓練ができたこと。
- 3 文化財搬出については、二の丸御殿の障壁画（重文）とし、訓練用の襖を活用し、二条城関係者と文化財セーフティカードと照合しながら訓練をしたこと。
- 4 画像伝送訓練を行い、実際に見学者の方に訓練の模様など画像で観ていただくことができたこと。

問題点・課題

特になし

その他

松坂文化庁地域文化創生本部事務局長にも来賓としてお越しいただき、京都市の文化財防火に対する取組みについて御覧いただいた。また、本訓練については、マスコミ（NHK、産経新聞）にも取り上げられ、反響があった。

訓練風景

別添「二条城消防訓練」参照

二条城消防訓練



訓練開始報告



自衛消防隊による消火器の消火訓練



文化財防災マイスターによる消火訓練



文化財防災マイスターによる避難訓練



自衛消防隊による屋外消火栓の放水訓練



自衛消防隊による文化財搬出訓練



画像伝送システム



文化財セーフティカードとの確認作業



救助隊による救出訓練



救急隊による救護訓練



一斉放水訓練



門川京都市長による訓練講評



松坂文化庁地域文化創生本部事務局長による挨拶